

霧が丘六丁目 まちづくり推進ニュース

霧が丘六丁目まちづくり推進会

地域まちづくり組織 (横浜市 認定番号 S16001)



自分たちではじめよう。
もっと住みやすいまちづくり。



霧が丘六丁目まちづくり推進ニュース Vol.15

横浜市による旧霧が丘第一小学校利用事業者公募 学校法人国際学園が採択されました

今年の3月20日にあらためて公募が開始された旧霧が丘第一小学校跡地利用事業者公募の結果が8月3日に公示されました。今回、公募に応じた4つの事業候補者のなかから採択されたのは、青葉区に本部を置く学校法人国際学園。若葉台や十日市場などで私たちにもなじみのある星槎学園を運営する学校法人です。

公表された審査委員の評は今回の採択内容を次のように評価しています。「合計で最高点を獲得した提案は、中学校として活用するもので、地域貢献への取組として、校舎内に地域教育交流スペースを整備し、校舎等の地域開放を行い、運営は、学校と地域の連絡会を設置して、地域のニーズも捉えながら協議・調整を行うとしています。また、経営状況も安定性が高いと認められました」(要旨)。

国際学園が若葉台で運営する星槎中学校・高等学校は、不登校の生徒等の受け皿として生徒数を伸ばしている全日制中高一貫校で、同校の中学部を霧が丘に移転するプランとのことです。

横浜市との本契約は来年4月を予定しており、霧が丘六丁目まちづくり推進会との接触はまだありませんが、「霧が丘六丁目地区 多世代が快適に暮らせる魅力をつくるまちづくりプラン」やワークショップを重ねて作成した「旧霧が丘第一小学校跡地の地域開放スペースドラフト案」を尊重した地域との連携に向けて、連絡を取り合いたいと推進会では考えています。

なお、今回の公募の審査内容の詳細は横浜市財政局のサイトで見ることができます(右下のアドレス参照)。

公募結果を伝える横浜市のプレスリリース▶

今回旧霧が丘第一小学校跡地の活用事業者として国際学園が決定したことは誠に喜ばしいことだと思います。審査の講評にもある通り、地域貢献の提案もたくさんいただいているようなのでとても楽しみにしています。

霧が丘六丁目まちづくり推進会



横浜市 記者発表資料

平成30年8月3日
財政局資産経営課

旧霧が丘第一小学校の跡地を活用する 事業者予定者を決定しました!

旧霧が丘第一小学校跡地活用事業者公募(平成30年3月20日公募開始)において、**4件の応募があり、事業者予定者を決定**しましたので、お知らせします。

■ 事業者予定者・提案内容

事業者予定者	提案内容
横浜市青葉区さつきが丘8番80 学校法人国際学園	用途：中学校の運営(旭区から移転) 地域貢献への取組：校舎の一部に地域教育交流スペースを整備 体育館・グラウンドの地域開放、 地域防災・防犯への取組等

■ 公募物件の概要

所在	横浜市緑区霧が丘六丁目13番
地積	13,121㎡(公簿)
建物	<校舎> 鉄筋コンクリート造4階建:5,009.79㎡ <附属建物> 体育館・物置等6棟:合計 678.41㎡
用途地域等	第一種低層住居専用地域 (建ぺい率40%・容積率80%) 第一種高度地区



■ 公募価格

土	賃付料(月額)	1,049,680円
地	保証金	12,596,160円 (賃付料の12か月分)
建物	売却価格	47,664,180円 (消費税及び地方消費税相当額 3,530,680円を含む)

■ 主な事業提案の内容(公募条件)

- 募集用途
既存校舎等を活用した教育機関による跡地全体の長期が活用
<土地> 30年間の事業用定期借地
<建物> 売却
- 地域貢献への取組
地域活動・地域防災等に資する取組

■ 今後の予定

仮	契約	平成30年8月
本	契約・建物引渡し	平成31年4月1日まで

■ 委員会における審査講評(要旨)

応募4者いずれの提案も本委員会が定めた基準点を満たす内容で、各応募者の教育内容に沿って有効に現校舎の活用を図り、積極的な地域貢献の取組を行うというものでした。
合計で最高点を獲得した提案は、中学校として活用するもので、地域貢献への取組として、校舎内に地域教育交流スペースを整備し、校舎等の地域開放を行い、運営は、学校と地域の連絡会を設置して、地域のニーズも捉えながら協議・調整を行うとしています。また、経営状況も安定性が高いと認められました。
なお、第2順位の提案も、地域貢献の取組や周辺環境への配慮等において優れた事業提案であり、評価が拮抗しました。
横浜市においては、本委員会が選定した提案内容が確実に実行されるよう、事業者予定者となる応募者との協議を適切に進めてください。

委員会の審判等の公募結果に関する情報は、資産経営課ホームページでも掲載しております。<http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/toti/hoyutochi>

お問合せ先
財政局資産経営課長 水口 浩之 Tel 045-671-2198



旧霧が丘第一小学校跡地利用事業者決定！ 地域共有部の活用方法を提案していきます

今年の1月、3月、5月に開催した旧霧が丘第一小学校地域開放部活用を検討する住民参加ワークショップを通じて、地域開放部のドラフト案がいくつか完成しました（以下の図はそのひとつ）。霧が丘六丁目まちづくり

推進会は、住民がつくったこれらのドラフト案を採択された事業者に提案し、具体的な活用方法を協議していききたいと思います。ドラフト案は推進会のHPにて公開しますので、ご意見などぜひお寄せ下さい。

霧が丘第一小学校 地域開放計画 2018

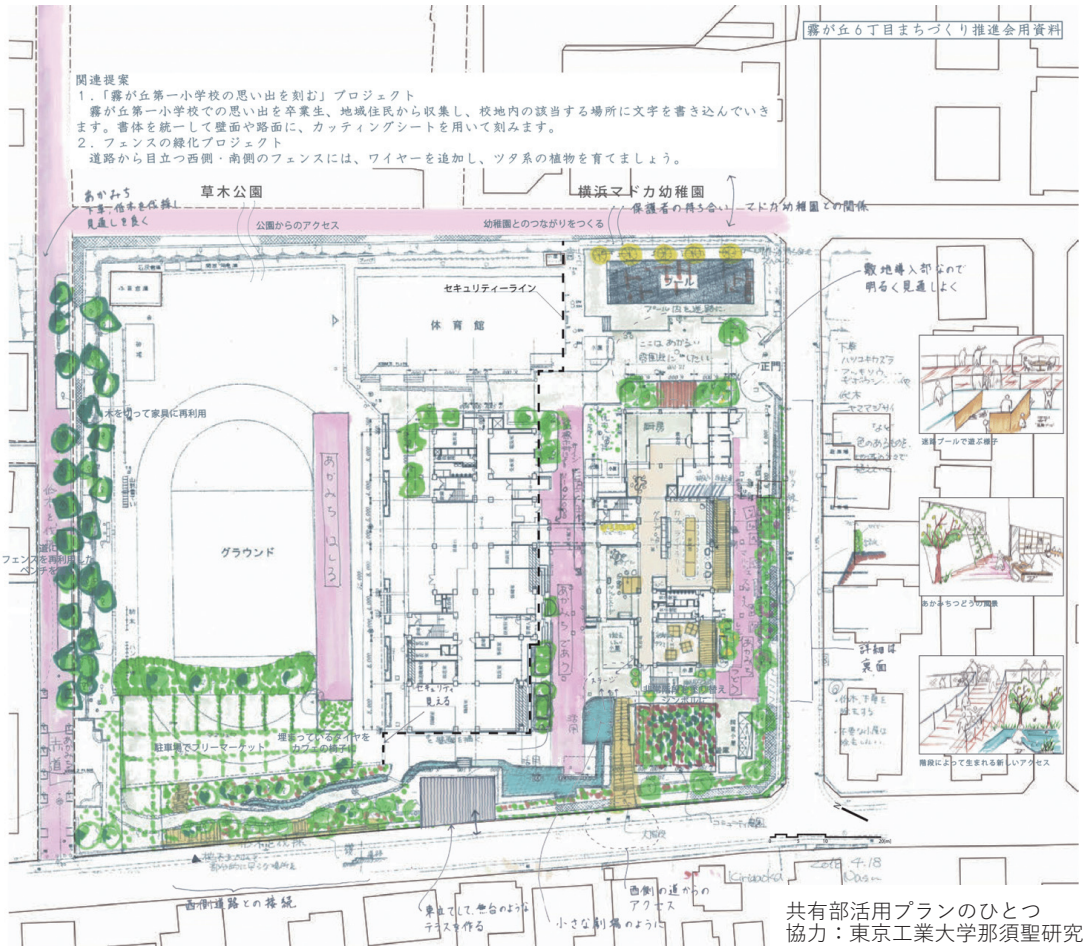
テーマ：地域の拠点として「つながり」力を持った場所にする

霧が丘小学校の一部を地域開放するためには、知る人ぞ知る場所ではなく、気づいてもらえる場所にする必要があります。地域外の人々も受け入れることのできる寛容さを備えた場所作りが必要です。そのために、校舎内だけでなく地域全体をつなげることのできる力を持った場所をつくりましょう。

- ・外部から活動がわかる場所
- ・外部から人を引き込むきっかけとなる空間
- ・見通しが良く、お互いの活動を理解できる場所
- ・開放する場所と見通しを調整することで学校のセキュリティの確保

屋外の計画

1. 下草・低木を必要に応じて伐採し、見通しをよくする。
2. 西側道路から入り込める溜まりをつくる。あわせて西側敷地境界の単調さを解消する。
杭木のテラス、舞台(テントを設置可能)、大階段
3. 敷地内の東西方向の通路(3つ)を性格分けし「あかみち」にちなんだ愛称をつける
あかみち・走る(グラウンド)：体育、運動
あかみち・出会う(玄関)：玄関までのアプローチ、待ち合わせ
あかみち・集う(南園)：活動の溢れ出し、マルシェ
4. 敷地南東のプールを活用し、待ち合わせのスペースをつくる(プールサイドをテラスとして活用、プール内を通路として遊び場に転用)



東京工業大学 那須研究室
2018.4.20



平成 30 年度まちづくり推進会総会を開催します

平成 30 年度の霧が丘六丁目まちづくり推進会総会を以下の要領で開催します。どなたもご参加いただけますので、お気軽にお越し下さい。なお、「霧が丘六丁目まちづくりプラン」をお持ちの方はご持参下さい。

2018年9月15日(土)14:00～15:30

神奈川県立霧が丘高校 会議室 (受付 1F にて)

※ 事業報告と事業計画を確認し、霧が丘六丁目まちづくりプランについてもあらためて説明いたします。

霧が丘六丁目まちづくり推進ニュース 発行：霧が丘六丁目まちづくり推進会
Vol.15[2018年9月号] 問合せ先：090-7945-0644 (佐東)
<https://kirigaoka6choume.jimdo.com/>



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

11 住み続けられる
まちづくりを



国連持続可能な開発目標 SDGs 達成に向け取り組みます。